

そなえあれば
うれいなし

西淀 防災 Times

Vol. 4 令和5年7月26日発行 担当：安東・溝上

先日の火災避難訓練では、ご協力ありがとうございました。『西淀防災 Times 第3号』は、事後アンケート結果より、皆さんにお伝えしたい項目を取り上げています。その他のご意見は6月の職員会議資料に載せる予定です。



◎火災が発生した時と、地震が発生した時は、避難方法の違いはありますか？

避難経路に関する質問で、最も多くのご質問をいただいた内容です。本校の校内安全マップは、地震が発生した場合の避難ルートに掲載しています。火災が発生した場合は、煙が広がる前に、いかに早く安全に逃げるかが大切になりますので、近くの扉から避難するようにしてください。

※誤作動でベルが鳴ることもあるので、避難が必要な場合は校内放送を聞いてからすぐに行動してください。

※地震と火災の避難方法について、防災PTから以下の表をいただきました。避難以外にもヘルメットや備蓄食の有無についても記載していますので、参考にしてください。

	火災	地震
避難経路	近い扉から避難	避難経路に従う
避難のタイミング	放送後ただちに	避難指示後
防災袋	不要	必要
避難場所	火元から遠い場所 運動場・ピロティまたは裏庭	運動場
ヘルメット	着用してもよい	必要

◎火を使わないところでも出火の恐れがあるのではないのでしょうか？

今回は火を使用することがある場所での出火の想定を計画しました。しかし、必ずしも火を使用する場所での出火するとは限りません。昨年度の火災避難訓練では、パソコン室のコンセントからの出火を実施しました。消防署と一緒に実施できませんでしたが、出火の原因は火以外もあることを知る機会となりました。

※R4年度の防災Times Vol.1 にコンセントからの出火に関する内容を取り上げていますので、そちらもご覧ください。

コンセント以外では、各教室に設置している給湯器にも危険が潜んでいます。給湯器の耐用年数は10～15年です。長年使用していると経年劣化により、ガス漏れ等の不具合が出てくる場合もあります。ガス漏れの状態で使用を続けると、漏れたガスに引火して給湯器が爆発し、火災につながる恐れがあります。少しでも異変を感じたらすぐに使用を止め、ガスの元栓を閉めて換気をする必要があります。

◎さいごに

今年度も多くのご協力、ご意見をありがとうございました。様々な課題点が見えた火災訓練だったと係は感じました。今年度の意見を参考に、消防署との連携をより密にし、教員も児童生徒も学びを深める訓練につなげていこうと考えています。